

学習内容報告書 フォーマット

学校名	糸島市立姫島小学校
授業者	辻 政信

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海の豊かさを守る

1-2. 学年

3・4年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

1 姫島の海にはどんな生き物がいるのか調べよう（磯遊び）
（1）学習計画を立てる（1時間）
（2）磯遊び（4時間）
（3）生き物調べ（2時間）
（4）交流と振り返り（1時間）
2 姫島の生き物を紹介するミニ水族館をつくろう
（1）姫島の海の生き物を紹介する方法を考えよう（1時間）
（2）ミニ水族館で飼う生き物を探してつかまえよう（4時間）
（3）ミニ水族館を開く準備をしよう（4時間）※マリンワールドの見学（学校行事）
（4）ミニ水族館を見てもらおう（1時間）
3 海の中のいろいろな生き物を見つけよう（シュノーケリング）
（1）GTの話をしっかり聞いて、海の中の様子について知ろう（2時間）
（2）海の中のいろいろな生き物を見つけよう（4時間）
（3）活動の振り返り（1時間）
4 海遊びを楽しもう
（1）安全に気をつけて海遊びを楽しもう（3時間）
5 海のごみ問題を解決しよう
（1）海のごみを減らすためにどのような取組ができるか考えよう（1時間）
（2）海のごみ問題に取り組むために大切なことを見つけよう（とったんの見学）（2時間）
（3）海のごみ問題に取り組むための計画について話し合おう（2時間）
（4）クリーンアップ大作戦を実行しよう（4時間）
（5）活動の振り返り（1時間）

1-5. 単元設定の理由・ねらい

美しい海に囲まれた姫島でも海の豊かさは急速に失われつつあると感じる。かつての姫島では、春にはもずくやわかめがたくさん取れていたが、今は磯焼けのため、海藻類が育たなくなっている。また、近年明らかになってきたマイクロプラスチックをはじめとする海洋ごみの問題や地球温暖化による生態系への影響など、様々な課題がメディアの話題に上っている。子どもたちの家はみな漁業を営んでおり、将来は漁師になると決めている子もいる。海からの恩恵をこれからも受け続けるためには、今すぐ海の環境を守る取り組みをはじめなければならない。また、子どもたちの目の前の課題が世界中で取り組まれているSDGsとつながっていること、そのゴールに向けて様々な人と出会い協力することで、子どもたちの探求活動を充実させ資質能力の向上を図りたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- 課題設定・解決力
(「なぜ?」を見つけ、その答えを見つけることができる。)
- 情報活用・表現力
(タブレットなどを活用して必要な情報を集めたり、プレゼンテーションを作って表現したりすることができる。)
- 対話力・思考力・社会連携力
(「なぜかな」と考えたことを、友達と話し合ったり地域の方に調査をしたりして学習を進めることができる。)

1-7. 単元の展開 (全 38 時間)

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
8	<p>【磯遊び】</p> <p>姫島の海にはどんな生き物がいるのか調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○磯遊びの学習計画を立てる ○安全に気を付けて磯で生き物を観察する 	<ul style="list-style-type: none"> ○図鑑・生き物の画像を準備しておく。 ○生き物には魚だけでなく、貝類や甲殻類、海藻類など多様であることに気づかせる。 ☆姫島の海辺の生き物に興味関心を持ち、学習計画づくりに参画することができる ☆海辺の生き物に興味関心を持ち、生き物を探することができる。
10	<p>【姫島水族館をつくろう】</p> <p>姫島の生き物を紹介するミニ水族館をつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ミニ水族館づくりに必要なものや必要なことを考える ○生き物を捕獲する方法について考える ○実際につかまえに行く ○捕獲した生き物について調べる ○マリンワールドを見学し、飼育方法を調べる ○生き物が住みやすい環境を整える ○水族館を見てもらう ・学習発表会 ・他校とのオンライン交流 	<ul style="list-style-type: none"> ○貝などを採集することを漁協に連絡しておく。 ○具体的な課題を考えさせ、解決策を考えさせる。 ☆友だちと協力して話し合いながら学習を進めた。 ○安全に配慮して活動できるようにする。 ○生き物にダメージを与えないよう運搬等に気をつける ○網・バケツ・釣道具など必要な道具を準備する ☆より良い飼育環境をつくるために、情報を集めることができる ☆活動を分かりやすく表現し伝えることができる。

7	<p>【シュノーケリング】 海の中のいろいろな生き物を見つけよう</p> <p>○GT の話を通して生物の不思議、毒を持つ生き物について知る。</p> <p>○図鑑で生物を調べてみる</p> <p>○GT の案内に従って海の中を観察する。</p> <p>○活動のふりかえりを行う</p>	<p>○GT から海の中の様子やどのような生き物に出会えそうか紹介してもらい、シュノーケリングへの期待感を高める。</p> <p>○集合場所に日よけテントを設置する</p> <p>・テント・ビニールシート・ワゴン・シュノーケリンググッズ（マスク・フィン・シュノーケル・シューズ・曇り止め・防水カメラ・ライフジャケット）</p> <p>☆姫島の海の豊かさを感じることができる</p>
3	<p>【海遊びをしよう】 安全に気をつけて海遊びを楽しもう</p> <p>○準備体操をする</p> <p>○ライフジャケットをつける</p> <p>○ボディを確認し互いに安全を確認し合う</p> <p>○SUPやシュノーケリングなどを楽しむ</p> <p>○振り返りをする</p>	<p>○前日に砂浜の清掃安全確認を行っておく</p> <p>○砂浜に日よけテントを設置しておく</p> <p>○それぞれの子どもの担当を付けると共に、陸上から全体を監視する係を置く</p> <p>☆安全に気をつけて海遊びを楽しむことができる</p>
10	<p>【クリーンアップ姫島】 海のごみを減らすためにどのような取組ができるか考えよう</p> <p>○海のごみの問題について話し合う</p> <p>○海のごみを減らすための活動を行っている人に話を聞く（またいちの塩製塩所とったんの見学）</p> <p>○プラスチックごみを使ったキーホルダーづくりにチャレンジする。</p> <p>○クリーンアップ活動の計画を立てる</p> <p>○クリーンアップ大作戦を実行する</p> <p>・プラスチックごみを分別し回収する</p> <p>○活動を振り返る</p>	<p>○ブレインストーミングでどんどん意見を出せるようにする</p> <p>○集めたごみの処理の課題に気づかせる</p> <p>○とったんのプラスチックごみのリサイクルの取組について知らせ、見学のめあてを持たせる。</p> <p>☆海のごみを減らすために行動しようとしている</p>

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- 【探究課題】「海のごみ問題を解決しよう」
 【情報の収集】「海のごみの問題への取組について調べよう」
 【整理・分析】「自分たちにできる海のごみ問題への取組を整理しよう」

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / ■反応	○教師の指導・支援 / ☆評価の視点（方法）
<p>1. 「海洋ごみ問題」について知る これまでの取組の振り返り 海の美しさ・楽しさ たくさんのごみ</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">めあて 海のごみを減らすためにどのような取組ができるか考えよう</p> </div> <p>2. ブレインストーミングで意見を出し合う</p> <p style="margin-left: 20px;">■ ごみ拾いをする ■ ごみをすてない ■ ごみを捨てないように呼びかける ■ ポスターをつくる</p> <p>(1) ごみをひろう</p> <p style="margin-left: 20px;">○ だれもやりたくないようなことをどう、やりたいことにできるか？ ○ 集めたごみをどのように処分するか？ 二つの課題を解決する方法はあるのか？ ■ みんながやりたくなるように、ごみを拾った分何かもらえるといいな。 ■ ごみは渡船に積んでいるのを見たよ。</p> <p>(2) ごみが出ないようにする</p> <p style="margin-left: 20px;">○ プラスチックをやめられるのか？ ○ ごみが出ない暮らしは可能か？ ■ プラスチックの代替りのものを使えば良いと思う。 ■ プラスチックやめられないと思うな。</p>	<p>○ 様々な写真資料を提示し、美しく楽しい海とたくさんのごみが漂着している現状とのギャップからめあてを導く。</p> <p>☆ 海のごみ問題を解決しようという意欲を持つことができている</p> <p>○ 思いついたことをどんどん出させる。</p> <p>○ 意見を整理して、課題を投げかける。 ○ 取組の事例を集めておき、必要に応じて資料を提供できるようにする。 → インターネットサイトはホワイトリストに登録</p> <p>○ 図書室の資料の把握 ○ 資料の準備 ・ 県の資料 ・ 企業のパンフレット ・ 糸島市の広報誌 など</p>

<p>(タブレットパソコンを活用)</p> <p>自分の調べたことや考えたことを表現する</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ チームでごみ拾いの競技をしている取組があって、面白いと思いました。 ■ 物をリサイクルしたり、大事に使ったりしたらいい。 ■ エコバックとかを使うといい。 <p>3. チャレンジしたい活動を選択し、その活動を選択した訳について発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ プラスチックごみは拾わないとなくならないので、みんなで拾う。 ■ 集めたごみのリサイクルをする。 <p>4. 次時は地元で先進的な取組を行っている企業を訪問し、現状や課題について学ぶことを知る</p>	<p>☆ 自分なりに調べることができる。</p> <p>☆ 調べたことや考えたことを伝えることができる</p> <p>選択しやすいよう、キーワードにして提示する</p> <p>☆ 自分の考えを表現することができる。</p>
---	---

5. 今回の活動の自己評価

年度「海の豊かさを守る」というテーマのもとに探究的な学習プロセスを大切に実践を行ってきた。子どもたちは「海の豊かさとは何か」という課題を追究する中で、様々な人に出会い、体験し、そこで学んだことを学習発表会や他校の子どもたちとの交流会に向けて整理し、まとめ、表現するという探究のプロセスを経験した。その中で子どもたちは「なぜ」を見つける力や ICT を活用して表現する力など、様々な資質能力を伸ばしてきた。また、島内のゴミ拾いを行う、海岸清掃のボランティアを行うなど、子どもたちに主体的な行動が見られるようになった。それは、学習を通して、これまで身近すぎて気づくことのなかった「海の豊かさ」に触れ、海が大好きになり、この素敵な海を守っていきたいという気持ちが大きくなっていった結果であると言える。子どもたちの姿を島民の方々も高く評価していただいた。また、「海の豊かさを守る」取組が特色ある取組として糸島市教育委員会のパンフレットに掲載される予定である。

6. 今後の課題

本年度は海洋ごみの問題を島の人だけでなく、島外の人々とも共有し、大規模なクリーンアップ活動のイベントを企画したいと考えていたが、新型コロナウイルスの影響もあり、そこまで到達することができなかった。6年生が修学旅行、卒業に向けての取組に時間が必要だったこともあり、「海の豊かさを守る」取組は3・4年生を中心に実施となった。そこで、姫島の海の豊かさに触れ、姫島の海を大切に思う気持ちを高めることに重点を置いて取組を進めてきた。来年度は、これまでの学びを生かしながら、島の中だけでなく、島外の人々とも連携した取組を推進していきたいと考えている。子どもたちの学びや気づきから「海の豊かさを守る」ことの大切さをより多くの人々と共有していきたい。

7. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特にありません。